

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年5月16日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

みんなが笑顔で暮らせるようにして下さい！

生活保護不服審査請求 **1097**世帯が提出

5/15



5月15日、北海道に対して、4月からの生活保護費の「引き下げ」（2回目）に対する不服審査請求書を、1097世帯が、道内7カ所（札幌848・小樽107・苫小牧91・江別19・旭川21・北見11）で、いっせいに提出しました（写真は札幌集会）。

請求人から切実な訴え

元生活保護利用者からも激励

札幌集会

札幌で行われた提出集会には、札幌市をはじめ、釧路や函館からの代表など、およそ160人が参加しました。生活保護制度を良くする会の肘井博行共同代表（弁護士）が開会あいさつし、請求人を代表して3人が訴えました（右記事）。

また、元ホームレスで、生活保護を利用していた方など、3人から激励のあいさつがありました。

その後、道の担当者へ848世帯分の請求書を直接提出しました。

提出後、事務局が、学習や宣伝、口頭意見陳述のとりくみなど行動提起し、昨年の引き下げについて裁判を検討していることも報告しました。道労連の出口事務局長が劣悪な労働者の状況とたたかいても紹介し閉会あいさつしました。

「私も不服審査請求したい」

集会を報道するテレビを見て、事務局へ、電話がありました。

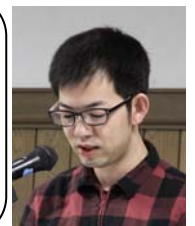
「娘の夢を叶えてあげたい」

9歳の娘さんと二人暮して病気療養中の伊賀理香子さん。娘さんはソロバンの先生をなることが夢で、塾に通っていましたが、昨年からの保護費引き下げで塾をやめさせざるをえませんでした。もう一つの夢である保育士にはさせてあげたい。笑顔に暮らせるようにして下さい。



「障害を持っていても、安心した生活や仕事を」

一人暮らし的場裕樹さん(29歳)。派遣切りで、親戚の世話になりながら就職活動したが見つからず。今は、障害年金と生活保護で暮らしています。冬期加算も下がり、燃料代も値上げ。4月は消費税増税。まだ寒い4月は冬期加算ができませんが何とか乗り越えました。



「毎日節約の連続。友人・近所つき合いできない」

一人暮らしの渡辺澄子さん(70歳)。66歳に年齢制限で退職。月7万円の年金では生活できず生活保護も利用。基準引き下げで、食事は1日3回から2回、入浴は週2回から1回。洋服は買えず。身内の冠婚葬祭も出られず。国民を守るのが政治。人の命が大切です。



年金引き下げ再審査請求 **2100**件越

昨年10月（12月支給）分からの年金引き下げ不服審査請求に対する「却下」判決を受け再審査請求が進んでいます。請求期間は、判決通知が届き60日以内で、通知が届き次第取り組んでいます。5月13日現在で2132件です（審査請求者の81.6%）。